

- 『緑の牢獄』 公式サイト：<https://green-jail.com/>

書籍版『緑の牢獄』が 日本と台湾 同時出版

映画本編には収まりきらなかった7年間の調査の記録と撮影の歩みを収録。加えて黄監督のドキュメンタリー方法論を書き記した映画・歴史エッセイ本。

現代日本人が最も注目する二つの場、それは台湾と沖縄。日本人が思い出さなければいけない歴史の原点がここにある。本書は映画では描き切れなかった記録の集大成である。映画同様の妥協を許さぬ文章製造過程を経て、本書は執筆された。よくある映画のオマケ本の類ではないことを強調しておきたい!

comment
埋もれていた日本と台湾を繋ぐ歴史が掘り起こされた。死を悟っても、なお揺るがない台湾人のアイデンティティが

書籍『緑の牢獄 西表炭坑に眠る台湾の記憶』
黄インク(著)、片岡力(編集)、黒木夏児(翻訳)
巻添日：3/13、出版：五日書房新社

- 3/12 線上活動：與日專書譯者黒木夏子の對談
活動影像：https://www.youtube.com/watch?v=v1GZ0Mq_ZPQ

Green Jail Talk Event Series

オンラインで話そう!
書籍『緑の牢獄』
沖縄西表炭坑に眠る台湾の記憶

3/12 (金)
21:00 ~

人生初の出版記念
裏話大放送!

監督 黄インク
訳者 黒木夏児

01
緑の牢獄

◎ 3/21 沖縄淳久堂書店舉辦簽書會（嘉賓：三木健、八尾祥平）



★ジュンク堂書店那覇店にて
トークイベントを開催★

書籍
『緑の牢獄：沖縄西表炭坑に眠る台湾の記憶』

日時：2021年3月21日（日）14時～
場所：ジュンク堂書店那覇店 B1F イベント会場

登壇者：
黄インイク（『緑の牢獄』監督）
三木健（ジャーナリスト・『沖縄・西表炭坑史』著者）
八尾祥平（日本学術振興会 特別研究員（上智大学））

Green Jail Talk Event Series



◎ 3/16-4/30 神保町東京堂書店 特設專區



◎ 日本 Amazon 「現代日本史部門」 排行榜第一 (2021/03/21)

amazon ランキング 売れ筋ランキング
Amazon.co.jpの売れ筋ランキング。ランキングは1時間ごとに更新されます。

現代日本史の 売れ筋ランキング

順位	書籍名	著者	価格	レビュー
1	緑の牢獄	村岡 暲	¥1,980	★★★★☆ 262
2	現代史の正体	藤野 虎次	¥913	★★★★☆ 913
3	遠田真央 100の言葉	遠田真央	¥1,760	★★★★☆ 67

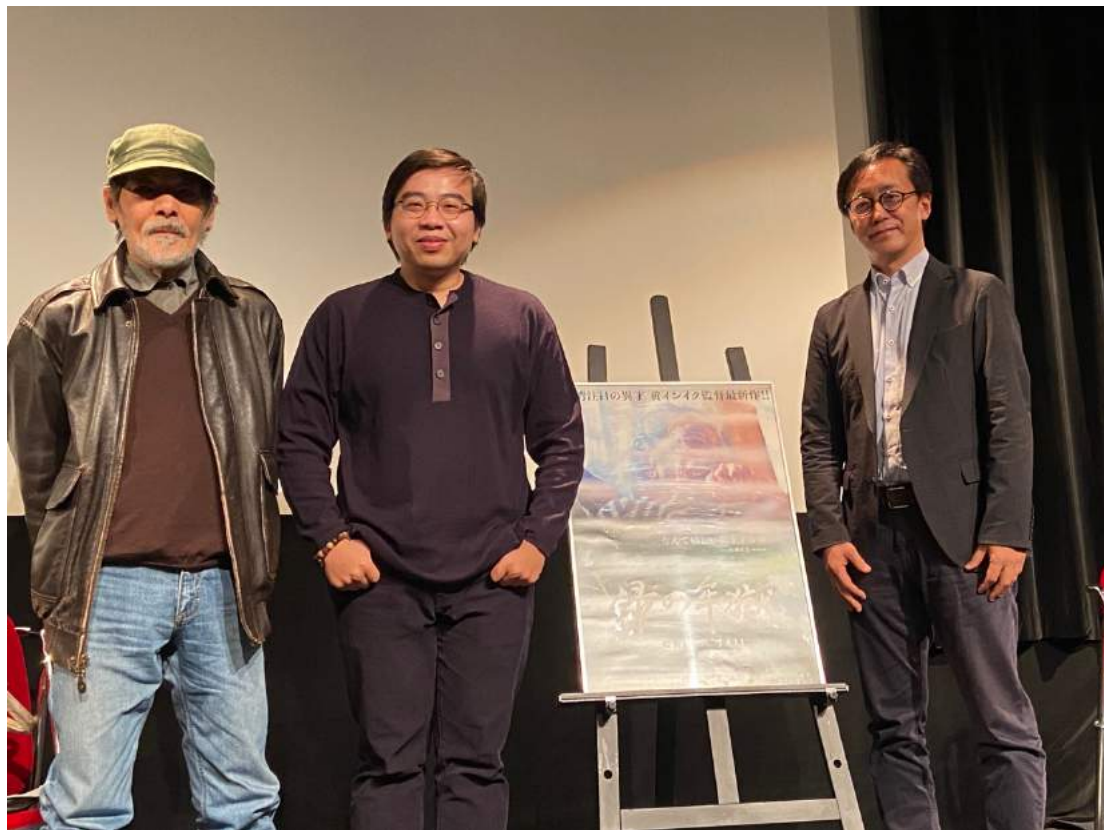
◎ 日本 Amazon 「歴史 (非小説) 部門」 排行榜第三 (2021/03/21)

amazon ランキング 売れ筋ランキング
Amazon.co.jpの売れ筋ランキング。ランキングは1時間ごとに更新されます。

歴史ノンフィクションの 売れ筋ランキング

順位	書籍名	著者	価格	レビュー
1	戦国時代	森岡 繁	¥1,980	★★★★☆ 19
2	日本の日	日米の関わり	¥770	★★★★☆ 32
3	緑の牢獄	村岡 暲	¥1,980	★★★★☆ 262
4	大逆転	藤野 虎次	¥1,320	★★★★☆ 98
5	Japan 100の言葉	遠田真央	¥2,728	★★★★☆ 67

◎ 3/23 東京《綠色牢籠》紀錄片暨專書完成紀念試映會（嘉賓：野島剛、井上修）



◎ 3/27 沖縄櫻阪劇場 首場映後講座



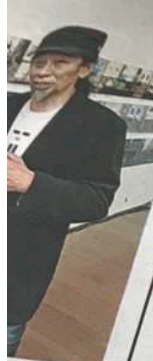
「本島材でメニュー...」
 都庁は2〜4週間ごとに交代し、第5弾まで実施する予定。第2弾は20日〜5月10日で、規模を拡大し、浅草の飲食店10店舗ほどが参加予定。連日、浅草の北海道産道産町で牛の排せつ物を熱エネルギーに変えて飼育しているチョウザメの魚肉を使用し、それぞれの店舗でさまざまな調理をする。プロジェクトを主導する金福商店の金子亮平社長(36)によると、浅草の千束通りには全国の自治体が交代で特産品などを販売する区の「ふるさと交流ショップ 台東」(浅草4)があり消費者には人気だが、出店自治体と地元店舗の交流は一部にとどまっている。金子さんは「新たなプロジェクトで交流が生まれれば、さまざまな業種でビジネスチャンスが生まれる」と期待している。

(井上幸一)

きょうの予想 (区内)
 降水確率 朝10% 昼10% 晩10%
 気温 最高19度 最低12度
 北のち東の風

社会部東京ニュースデスク
 〒100-8505 東京都千代田区
 内幸町12-1-4
 電話 03-6910-2260
 FAX 03-3595-6917
 mail:shakai@tokyo-np.co.jp
 したまち支局
 電話 03-3844-2215
 FAX 03-5827-7470
 立川支局
 電話 042-524-0061
 FAX 042-524-0063
 武蔵野 0422-43-2134
 八王子 042-656-2313
 町田 042-727-5451

で15人作品展



「海の彼方」に次ぎ、ドキュメンタリーシリーズ二作目となる。

「台湾から西表島へ『おぼあ』の孤独を描く 事野あすから上映」
 土壌文に台湾から炭鉱の多摩川西表島に連れて来られ、島に住み続けた女性の晩年を追った映画『おぼあ』を台湾人の黄胤胤監督が完成させた。「ボレボレ東中野」(中野区)で三日から公開する黄胤胤は「『おぼあ』の美しさを悲しみを表現できたと思う。黄胤胤は二〇一六年から即興を拠点に活動している。黄胤胤は「『おぼあ』の物語を記録した」



「緑の牢獄」の一場面 (©Moolin Films, Ltd. / Moolin Production, Co., Ltd.)

浪江町を定点撮影

真の前で、定点撮影

黄胤胤は「『おぼあ』はすごく孤独だった。歴史がどつやって人生の『牢獄』をつくったか、おぼあの家を通して考えた。歴史を超えて、小説的、文学的な作品に仕上がった」と手応えを話している。

西表島には、明治から第二次世界大戦後まで六十年余りの歴史を持つ炭鉱があった。国内外から集められた労働者が劣悪な環境で働いたという。廃坑のそばに一人住み続け、一八年に他界した台湾移民の橋間良子さんにインタビューを重ねて歴史をたどり、美しい映像とともに作品化した。

都金融課=電03
 財団法人・東京都
 課=電03

購読のお申し込み 0120-0000
 配達・集金

◎ 4/2 日本 朝日新聞（社論）



◎ 4/3、4/4 東京 ポレポレ東中野 映後座談暨簽書會





◎ 4/6 日本 日本經濟新聞

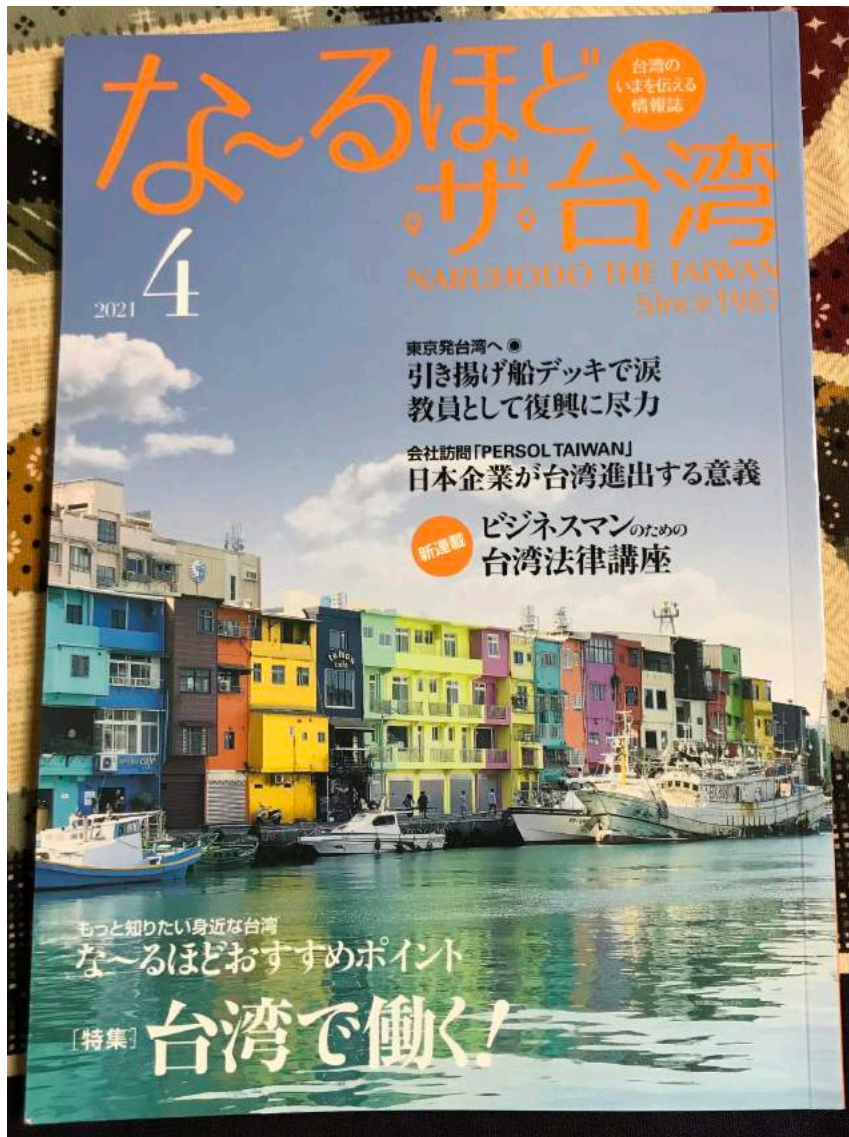


◎ 4/10 日本 朝日新聞書評



◎ 「な～るほど・ザ・台湾」4月號 刊載





◎ 5/22 與作家 温又柔共同舉辦書籍線上講座（誠品生活日本橋店內）
 活動報名網址：<https://seihin0522midori2.peatix.com/?lang=ja>

映画『緑の牢獄』公開記念

黄インク氏 × 温又柔氏

(映画監督) (作家)

ライブトーク

2021.5.22 Sat.
 14:00～15:30
 会場観覧&オンライン

台湾注目の異才 黄インク監督最新作!!



なんて悪い顔をするの、
 なんて嬉しい顔をするの
 ——何部監督——

緑の牢獄

GREEN JAIL

監督：黄インク (Wu Ink)

脚本：黄インク (Wu Ink)

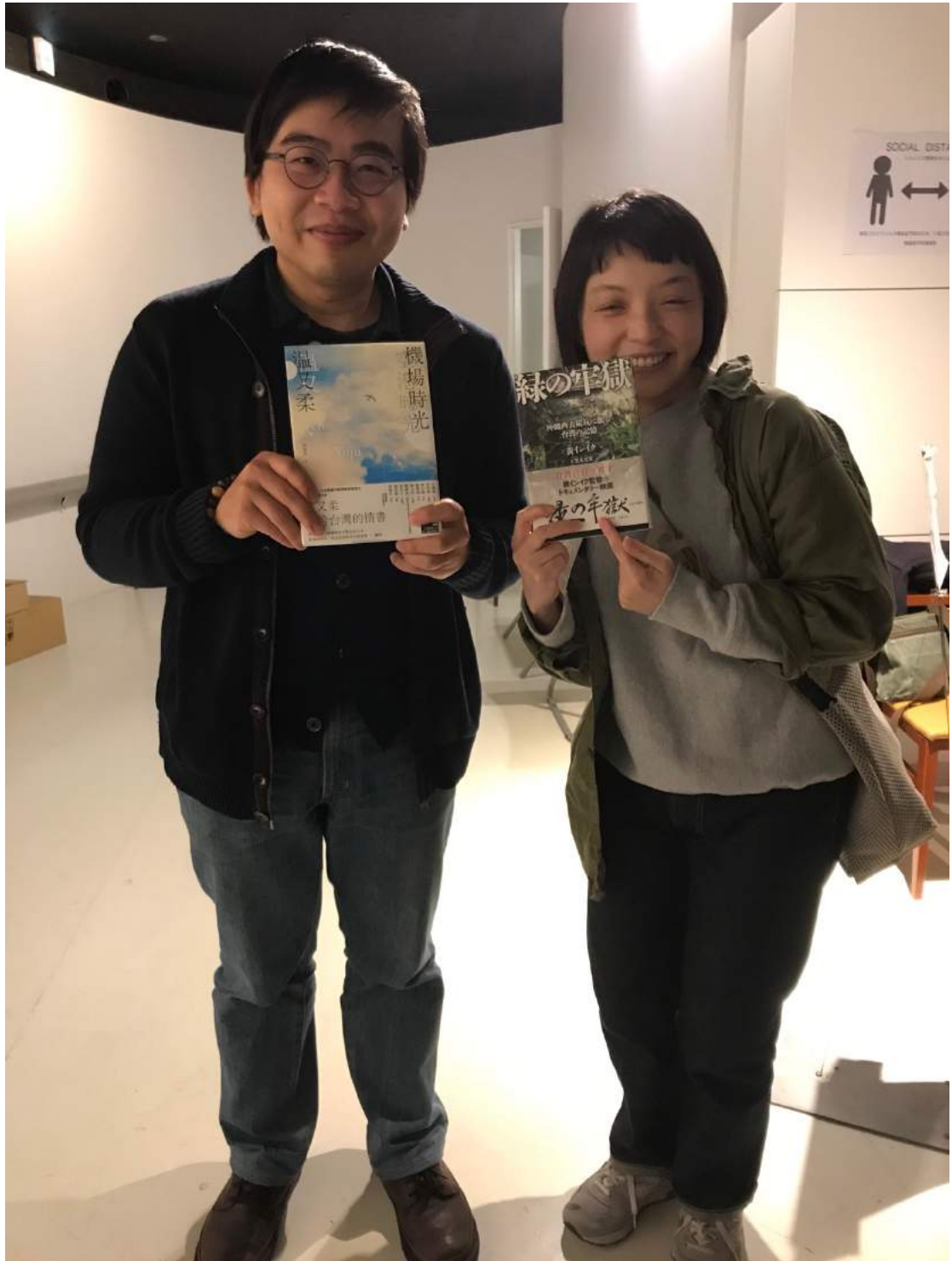
主演：温又柔 (Wen Yourou)

台湾注目の異才 黄インク監督のドキュメンタリー映画

緑の牢獄

GREEN JAIL

島の果て、西貢島に生きた台湾人女性のアンタレス・ストーリー!





◎ 8/16 日本 北日本新聞

北日本新聞 2018年8月16日

中谷さん(晋中)撮影の映画 きょうから富山で公開

台湾移民の物語描く

沖縄炭鉱の歴史通し



中谷さん(晋中)撮影の映画「緑の海」が、きょうから富山で公開される。富山県立富山高等学校で撮影されたこの映画は、台湾移民の物語を描く。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。

中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。この映画は、台湾移民の歴史を伝えるために制作された。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。



中谷さんの映画を撮った「緑の海」の主演女優の一人、中谷さん(晋中)のインタビュー。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。

中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。この映画は、台湾移民の歴史を伝えるために制作された。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。

中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。この映画は、台湾移民の歴史を伝えるために制作された。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。

◎ 8/25 雑誌・越境広場9号 刊載

越境広場9号

如三 海越

「海越」は、台湾移民の物語を描く。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。この映画は、台湾移民の歴史を伝えるために制作された。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。


映画は橋間おはの口頭で引き出されていく証言が、『海越』には、意図的な距離感がある。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。

中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。この映画は、台湾移民の歴史を伝えるために制作された。中谷さんは、この映画を通じて、台湾移民の歴史を伝えることに尽力している。

◎ 9/23 特別短篇《草地火焰》放映暨《綠色牢籠》講座（ROOTH2-3-3）

緑の牢籠
GREEN LASS
福岡 event. 1

9/23 (木・祝)
19:00-20:00 (開場: 18:30~)
福岡県大牟田市のドーナツカフェ
会場: ROOTH2-3-3

ドキュメンタリーでは描ききれなかった、
脱走する坑夫の絶望をフィクションで描く。
短編映画『草原の焰』
特別上映&トークイベント

ゲスト: 黄インイク (本作監督) 聞き手: 石渡麻美 (福岡映画部)

入場料: ドリンク一杯 入場は予約優先です。
お申込み先: ROOTH2-3-3 までお電話 (092-984-1131)
Instagram (@rooth233) へ DM

注: 上記のイベントは今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて延期・中止となる可能性があります。

責任協力: 福岡映画部



◎ 9/24 《綠色牢籠》簽書會暨講座（イオンモール大牟田）

緑の牢獄
GREEN TAIL
福岡 event.3

南^{シマ}の炭鉱に生きた台湾人を描いたドキュメンタリー
映画『緑の牢獄』九州公開記念トークショー
9/24(金)14:00-15:00
セントラルシネマ大牟田での初回上映後
福岡県大牟田市岬町3-4
会場：イオンモール大牟田
一階 ありあけコート

出演者：黄インイク
(本作監督)

参加費：無料(予約優先)
予約方法：お電話(未来屋書店大牟田店：0944-41-0560)
メール(福岡映画部：info@fukuokaeigabu.com)
メールでご予約される方は、件名に「9/24 イオンモール大牟田トークショー予約」、
本文に参加される方の「お名前」、「人数」を記入の上、上記までお送りください。

かつて日本の近代化を支え、筑豊、三池など全国有数の炭鉱があった九州の土地で、
いよいよ南の炭鉱(シマ)を描いた本作が公開されます。これを記念して、イオンモ
ール大牟田さまのご厚意により会場をお借りして、公開記念トークショーを行います!映画
を見ていない方でも楽しめる内容となっておりますので、是非ご予約の上ご参加下さい!

注・上記のイベントは今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて延期・中止となる可能性があります。 宣伝協力：福岡映画部







◎ 9/25 非小説創作：浅談《綠色牢籠》電影及書籍（六本松 蔦屋書店）



9/25(土) 13:00-14:00

福岡市中央区六本松 4-2-1 六本松421 2F

会場：六本松 蔦屋書店 アートスペース

九州公開記念トークイベント

「ノンフィクション創作 - 映画と書籍『緑の牢獄』から」



出演者：黄インイク
(本作監督)



ファシリテーター：石渡麻美
(福岡映画部)

映画と書籍、異なる媒体を駆使して黄インイクが伝えたかったことは——。ノンフィクションの最前線へと迫るトークイベント。作品のバックストーリーはもちろんのこと、ローカル性、芸術性、そして商業性まで、表現の手段と作品をつくり続けるために必要なことなども掘り下げて語られます。

参加費：1000円 予約方法：店頭またはお電話
お問合せ先：092-731-7760（六本松 蔦屋書店）

イベント参加の方で、書籍『緑の牢獄』をお持ちの方を対象にサイン会を開催いたします。（書籍『緑の牢獄』はイベント会場でも販売いたします）

注：上記のイベントは今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて延期・中止となる可能性があります。

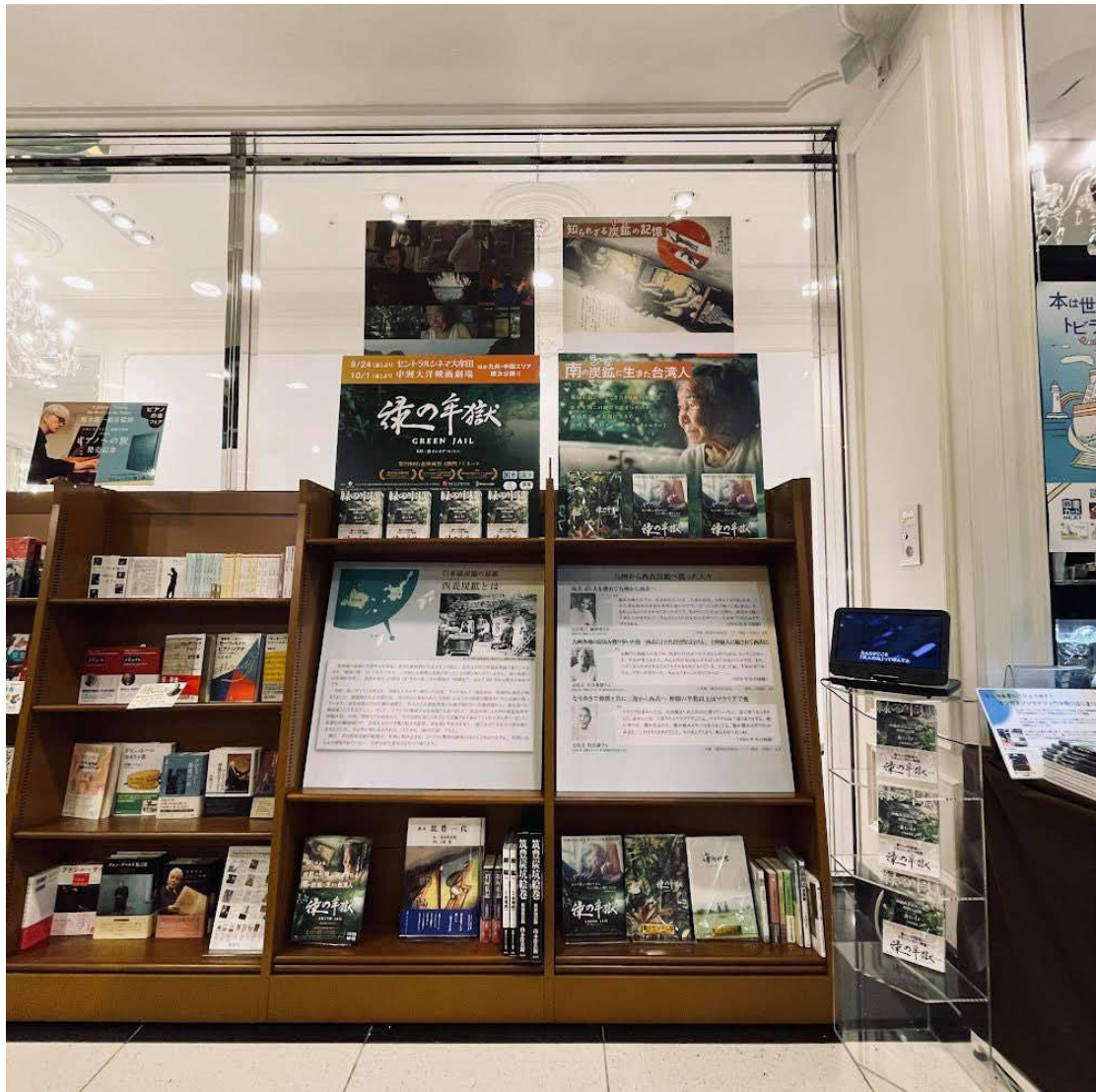
宣伝協力：福岡映画部



◎ 9/24 日本 毎日新聞 福岡地方版



◎ 9/21-10/30 淳久堂福岡店 特設專區/看板展示



◎

- 10/1 導演們的對談：電影製作及在地電影文化的形成（嘉賓：神保慶政）
活動影像：<https://youtu.be/3da-mkca6Dw>

オンライントークイベント

映画監督と考える 映画づくりと ローカルでの映画文化醸成

10/1 19:30 参加無料
21:00 開催場所：YouTube LIVE / Facebook LIVE
にてリモート開催
(96以上に投稿した参加用URLからご参加頂けます。)

映画『緑の牢獄』のローカル宣伝プロジェクトの総まとめとして、オンライントークイベントを開催します。ゲストには、映画『緑の牢獄』の監督で沖縄を拠点に映画づくりを行う黄インイク氏と、『僕はもうすぐ十一歳になる。』の監督で福岡を拠点に映画づくりを行う神保慶政氏をゲストに迎え、「映画をつくること」「ローカルからアジアに、そして世界に発信していくこと」をテーマにお話いただきながら、ローカルでの映画文化醸成を考えます。

緑の牢獄
GREEN TAIL
福岡 event.5



映画監督・プロデューサー
黄インイク (沖縄在住)



映画監督
神保慶政 (福岡在住)



福岡映画部 主宰
石渡麻美

お問い合わせ先：info@fukuokaiegabu.com (福岡映画部)

主催：福岡映画部 共催：ムーリンプロダクション

- 10/1 日本 西日本新聞



The image shows a newspaper clipping from the Nippon News (西日本新聞). The main headline is "人物 現在形" (Profile: Current Form). The article is titled "「おばあ」の記憶で 西表炭鉱ひもとく" (Uncovering the history of Seitai Coal Mine with the memories of 'Obaa'). The article discusses the director Huang Inyik (黄インイク) and his film 'Green Prison' (緑の牢獄). It mentions that the film's protagonist is a man who spent 60 years in the Seitai Coal Mine. The article also includes a photo of the director and a photo of the coal mine. The text is in Japanese and provides a detailed account of the director's work and the film's production.

◎ 10/1 映後講座暨簽書會（佐賀・シアター・エンヤ）



◎ 10/2 映後講座暨簽書會（佐賀・シアター・シエマ）



◎ 10/2 映後講座暨簽書會（福岡中洲大洋映画劇場）



◎ 10/2 映後講座暨簽書會（熊本 Denkikan）



◎ 10/9、10/10 映後講座暨簽書會（東京 CINEMA Chupki）



10/5 東京大学 東亞藝文書院 特別講座

東京大学 網頁報告 : <https://www.eaa.c.u-tokyo.ac.jp/blog/okinawa-4/>

第4回 EAA 沖縄研究会

黄インイク監督 『緑の牢獄』 上映会

【日時】

2021年10月5日(火) 13:00~16:00

【場所】

東京大学駒場キャンパス 101号館 11号室

※感染防止対策のため、関係者限定とさせていただきます。

【プログラム】

13:00-14:45 映画上映

14:50-16:00 黄インイク監督による講演およびディスカッション

＜黄インイク監督プロフィール＞

1988年生まれ。台湾・台東市出身。沖縄在住。台湾・政治大学テレビ放送学科卒業、東京造形大学大学院映画専攻修了。

2013年より植民地時代の台湾から八重山諸島に移住した“越境者”たちとその現在を横断的に描く「狂山之海」シリーズを企画。第一作『海の彼方』（2016）は日本と台湾で一般公開し、大阪アジア映画祭、台北映画祭ほか、新藤兼人賞「プロデューサー賞」受賞。

シリーズ第二作となる『緑の牢獄』（2021）は、監督が七年間の歳月を費やした渾身の一作。本作は企画段階から注目され、ベルリン国際映画祭、スイス・ニヨン国際ドキュメンタリー映画祭などに入選。



＜作品イントロダクション＞

熱帯林に囲まれ「秘境」と呼ばれる西表島。島には人知れず眠る巨大な「炭鉱」があった。廃坑を無秩序に覆う緑、そこを住処とするイノシシの群れ、そして廃坑を見つめる90歳の老女——橋間良子。10歳で父に台湾から連れられ、人生のほとんどもこの島で過ごした彼女は、たった一人で誰もいない家を守る。

眠れない夜には、島を出て音信不通となった子供、炭鉱の暗い過去、父への問いかけ——忘れたくても捨てられない記憶たちが彼女を襲う。

希望、怒り、不安、そして後悔——彼女が人生最期に放つ静かな輝きが、この一作に凝縮される。



東アジア藝文書院





◎ 10/15 日本 中國新聞

